

川本中学校 学校便り

川本町立川本中学校 2月号
2023（令和5）年2月28日（火）

〒696-0004 島根県邑智郡川本町川下1112番地
TEL 0855-72-0408 FAX 0855-72-1762
E-mail info@kawamoto-jhs.kawamoto-town.jp

令和4年度学校評価から見えた課題と手立てについて①

昨年末に「生徒アンケート」、「保護者アンケート」を実施させていただきました。毎学期実施している「職員評価」と合わせて、結果を分析し、来年度に向けて、改善できるところから取り組んでいます。今回はアンケート結果と分析の主な内容を紹介させていただきます。

1 生徒アンケートより

<成果と強み>

- ・「学校の職員は、自分の話を聞いてくれたり、様子を見て気にかけてくれるなどして、自分のことを理解しようとしている。」「先生方は生徒に何かあったとき、素早く対応してくれている。」の2項目が2回とも100%の肯定率でした。しっかりと見守られているという安心感が信頼や関係づくりにつながっているととらえています。
- ・ICTの導入もあり、ICTや図書館を利用した学び合いの授業が定着し、子どもたちにも浸透していることがうかがえます。ICTの活用方法を模索中ですが、その時々「最適化」を意識工夫し、授業改善につなげていることが高い肯定率につながっているととらえています。
- ・生徒会活動は主体的に取り組む姿勢がうかがえます。3年生を中心とした取組がなされ、各行事だけでなく、日々の生徒会活動も充実しています。校則の見直しを生徒会主体で行うなど、具体的な取組結果も見え、新生徒会もやりがいをもって取り組んでいます。

<課題と改善策>

- ・地域の方との活動は、総合的な学習の時間を中心に取り組んではいますが、時数としては絶対数が少なく、生徒にとっては活動が少ないと感じてしまうのかもしれません。来年度に向けて一層の工夫に努めてまいります。
- ・学習方法についても模索している生徒や習慣化されていない生徒が約3割に上ります。自学力カウンセリングや教育相談を随時行っているところです。また、学習方法の周知や意欲喚起につながる情報を便りで配信してきました。今後も情報発信を継続し、保護者の皆様と協働しながら、一人ひとりに合った学習方法を探していきたいと考えています。

2 保護者アンケートより

<肯定的評価が高い項目について>

- ・情報発信についての項目で高い肯定率を示しています。保護者や生徒の目線に立ち、「安心して通わせられる学校」「安心して通える学校」づくりに力を入れていきます。
- ・ICT機器の導入により、調べ学習の向上を感じておられる方が多くおられます。授業でもICTを多く活用する場面もあり、その成果と結果と受け止めています。

＜めざす学校像＞

- 生徒・職員・保護者・地域の人々が、安心して、『夢』や『志』を語り合える学校
- ありがたい言葉が、あふれる学校

令和4年度学校評価から見えた課題と手立てについて②

- ・家庭学習の方法の提示にも昨年度に比べ、高い数値を示しました。自学カウンセリングも行っていますが、タブレットの持ち帰りによる家庭学習にも取り組み始めました。便り等を使っての情報発信も行い、内容を引き続き工夫してまいります。
- ・「お互いを思いやる」「人権について学んでいる」「協力して取り組む」といった項目で昨年度より高い数値を示しました。学校経営方針の中核部分の取組に対する成果の一つと感じております。今後も人権意識の高い生徒を育てていくよう、職員一丸となって取り組んでいきます。

＜肯定的評価があまり高くない項目について＞

- ・家庭学習については、4割を超える保護者の方が、習慣が定着していないと感じているという結果となりました。生徒自身も3割の生徒がそう感じています。家庭学習の定着に向けては、自主学習形式の学習会をもつ取組や、定期テスト前に目標を掲げる取組の推進を行い、目標に向け努力している姿が見られます。学習会での取り組み方や定期テスト前の取組の姿勢を継続して定着できるよう、個別に声かけをしていきます。また、今年度、オフラインで使用できるタブレットドリルを導入していただきました。学年をまたいで取り組むことができるものもあるので、このような教材を利用し、家庭学習の充実に向け取り組んでいきます。
- ・地域の方との交流についても昨年度より低い値となりました。先にも述べたように、教育課程の見直しや生徒会との連携など、地域交流について工夫したいと思っております。

＜記述の内容について＞

- ・部活動についてご意見をいただきました。川本町ではガイドラインにおいて、原則「週休日は少なくとも月2日以上を休養日とする」「週休日の両日に部活動を実施する場合は、平日のいずれかの日を休養日にあてる」と制定されております。今後もこの方針のもと、部活動に取り組んでまいります。また、結果の情報発信もルールを見直し、一層の周知を図ってまいります。
- ・学習会や衣替えについてご賛同いただき意見をいただきありがとうございました。

3 まとめ

生徒、保護者、地域の皆さんとの関係づくりを基盤として諸活動に取り組んできました。コロナ禍の中だからこそその丁寧な声かけを意識してきたつもりでしたが、関係性や安心安全にかかわる項目で高い肯定率を示していただいたことをとても嬉しく感じております。相互の信頼関係を一層成熟させながら、生徒につけたい力を明確にし、教育活動を推進してまいります。

さて、今年度、生徒に示す具体的なキーワードとして、「やる気アップ」を掲げ、ことあるごとに示し、担当者を設け、便り等を出して生徒の主体性を促すしかけを意識して行ってきました。来年度もさらに工夫改善して『生徒の思いを真ん中に』おき、生徒自らが自己実現を図る取組を推進してまいります。

来年度もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。